

平成 27 年 2 月 17 日

クロフォード・イン大沼における灯油の流出について

1. 発生概要

本日（2月17日）9時00分頃、当社直営ホテルであるクロフォード・イン大沼従業員が灯油ボイラーの不具合に伴い原因を探っていたところ、屋外の給油配管付近にて灯油漏れを認め、灯油タンクの残量を確認した所、約800L減少していることが判明しました。

直ちに七飯消防署等関係箇所に通報し、ご協力を頂きながら調査を行ったところ、隣接する小沼には流出はしておらず、土壌の入替等の作業を行っております。

なお、本日中に当該ボイラーは復旧済であり、ホテルにつきましては通常通り営業を行い、土壌の入替作業は明日中までに完了させます。

2. 発生箇所

クロフォード・イン大沼（亀田郡七飯町字大沼 85-9）

3. 原因

16日13時00分頃に行った重機による除雪作業の際、施設周辺の雪を給油配管付近に押しつけたため、配管の立ち上がり部を損傷したものと考えられます。

4. 推定流出量

約800L

5. 時系列

16日	13時00分頃	クロフォード・イン大沼従業員が現場付近を重機により除雪
17日	2時00分頃	灯油ボイラーの停止を確認
	9時00分頃	クロフォード・イン大沼従業員が灯油ボイラー停止の原因を調査していたところ、給油配管の立ち上がり部にて灯油漏れを発見、直ちに七飯消防署に通報
	10時30分頃	当該配管の修繕工事を開始
	13時00分頃	土壌の入替作業を開始

6. 今後の対策

- (1) 灯油漏れにより汚染した土壌については、明日中までに入替作業を完了させます。
- (2) 当該の配管立ち上がり部付近に囲い等を設置するなど、重機等が近づかないように防止措置を講じます。

別紙



除雪車



灯油タンク



損傷した配管（拡大）①



損傷した配管（拡大）②